

# チーム活動を支援するドキュメントコミュニケーション ～研究コミュニティにおける運営マニュアルの作成, 更新, 運用

高橋慈子<sup>†1</sup>

小規模でボランティアにメンバーが運営を分担している研究コミュニティでは、活動のノウハウが属人化されていることが多い。そのため、運営メンバーの交代や新規メンバーに運営のノウハウや過去の蓄積が十分に伝わらないこともある。本研究では、業務マニュアルの作成ノウハウを活かし、研究コミュニティのひとつ、情報処理学会デジタル・ドキュメント研究会 (DD 研) の運営マニュアル作成, 自ら更新, 運営を通して評価することを目指す。また、業務マニュアルの研究コミュニティある EPUB マニュアル研究会とも連携し、作成した運営マニュアルの出力形式として PDF のほか、EPUB 形式での使い勝手についても評価したい。

## Document Communication for aiding team activity ～ Operation manual of research community

SHIGEKO TAKAHASHI<sup>†1</sup>

### 1. 自己紹介 (研究をするにあたってのバックグラウンド)

筆者は、製品やシステムの技術的な情報を利用者にわかりやすく伝えるテクニカルコミュニケーションの分野で、マニュアル制作に 1980 年代より関わってきた。この数年では、製品の市場が海外にも広がり、製品マニュアルに関連する大量の文書を複数の言語で、スピーディに、標準的な品質で作成することが求められるようになってきている。そのため文書を構造化し、スタイルを決めて、チームで作成する手法が注目されている。構造化文書を作成する手法である DITA (Darwin Information Typing Architecture) もそのひとつである。標準的なトピックの型を用意し、分野ごとに特殊化しながら、文書の共有化、再利用がしやすい方法で、作成、運営する。こうした構造化文書の企業のマニュアルや、人材育成での研修教材への作成、運用について研究してきた。

### 2. 研究していきたいこと

本研究では、構造化文書を意識して、運営マニュアルを作成し、メンバーが職場や研究会の場で各自の持つ多様なデバイスで表示しながら、運営マニュアルを利用することを想定し、作成、評価をしていきたい。

#### (1) カテゴリ

#### B ドキュメント作成

#### D チームでの運用

- 「B ドキュメント作成」については、マニュアル作成のノウハウを活かして、運営マニュアルの作成方法、

ツールの利用、わかりやすく伝えるためのテクニカルライティングスキルについてまとめ、提示したい

- 運営マニュアルを作成したいと考えているコミュニティに、作成の手順、方法などを提示し、適用してもらおうことを目指す
- 「D チームでの運用」は、組織の中のポジションの違いによって異なる役割、業務内容に合わせて、必要な情報がカスタマイズできる「マイマニュアル」の作成方法を研究して実証実験をし、評価方法についても検討したい

### 3. コラボレーション報告

業務マニュアルの新しい作成方法と出力形式として、EPUB 形式に着目し、研究・発表をしている EPUB マニュアル研究会と連携し、情報を共有し、連携してきた。EPUB マニュアル研究会は IT 関連企業が中心となり 2013 年初頭よりスタート。2014 年には第 2 期に入り、メンバーの属している企業や組織の業務マニュアルを作成し、検証してきた。ツールとして、メンバーであるアンテナハウスが提供しているクラウド型 EPUB 作成ツール、CAS-UB を利用し、Word 原稿から EPUB マニュアルへの変換作成を行った。筆者は運営委員用の Web ページで公開されていた DD 研の運営マニュアルをサンプルに、Word で形式を整え、スタイル設定した後、EPUB 化を行った。その過程や運用しての報告を、EPUB マニュアル研究会でもまとめている。

### 参考文献

- [1] 高橋慈子,野々山秀文,中挾知延子「チームによる効果的,効率的なドキュメント作成,運用方法に関する調査手法の検討」,情報処理学会研究報告デジタル・ドキュメント (DD), DD-092-05,2014

<sup>†1</sup> 株式会社ハーティネス  
Heartiness Co.,Ltd.

- [2] 木村修三「電子書籍ファイルのフォーマット EPUB3 を利用した業務マニュアルの作成・配布の効用」,情報処理学会研究報告デジタル・ドキュメント (DD) , DD-092-06,2014
- [3] 高橋慈子「多言語展開, 再利用を促進する構造化文書の作成動向—DITA を利用した文書作成・活用—」,情報処理学会研究報告デジタル・ドキュメント (DD) , DD-076-04,2010
- [4] 高橋慈子・今村誠「多言語展開, 再利用を促進する構造化文書の作成動向—DITA を利用した文書作成・活用—」,情報処理学会研究報告デジタル・ドキュメント (DD) , DD-076-04, 2010
- [5] 高橋慈子,関根哲也,中野賢,大場みち子,山口琢「教材活用・共有のための DITA と CMS 利用の一考察—」,情報処理学会研究報告デジタル・ドキュメント (DD) , DD-083-06, 2011